

第6期恵庭市総合計画 地域別意見交換会 市民の広場 in 恵み野会館

日時：令和6年10月21日（月）18：30～20：35

場所：恵み野会館 活動室

「まちのみんなで10年後の恵庭を考える。」をテーマとし、「この10年で良かったこと、残念だったこと」「自分の好きなまちの魅力」「恵庭がこんなまちならもっと好きになる」「思い描く10年後も好きな恵庭市」について語り合うワークショップを行いました。

恵み野会館では、32名の皆様にご参加いただきました。（市長・副市長を含め市職員も参加）



グループ①



主な意見

- ・交通面は良いという評価、区間快速が恵み野駅と島松駅に止まるようになり、とても便利になった。
 - ・恵庭にバレーボールのチームがあつたらしい、また趣味がもっとやりやすくなるとよい。
 - ・はなぶるができてよかったです、もっといい感じになるとよい。
 - ・のびのびと愛のあるまち、帰ってきたくなるようなまちになるといい。
 - ・本屋ができるとよいと思っている。
 - ・地域の人とのつながりを今後どうするか。市役所の方と学生がつながったら、もっといい地域活性化のアイデアが出るのではないかと思っている。市役所はかたいイメージがあるが、そういった壁をなくすことで面白い話等がたくさん出るのではないかと思う。ちなみに中学校の校長室は、生徒がいつでも出入り可能、オープンにしている。ユーモアあふれるまちになってほしいと思っている。

グループ②



主な意見

- 将来的には、日ハム二軍施設の誘致、そのそばに図書館、それから観光客が泊まれるホテルが必要。
- 地産地消が進み、できればエネルギーも地産地消が進めばいい。もったいない精神、先人の知恵等をみんなで共有したい。
- 移住者にも優しいまち、人が助け合うまち、誰にでも優しいまち、楽しめるまち、そして子どもがすくすく育ち、夢が叶えるまちになつたらいい。
- 外国人が増えてきて、市内のイベントにも参加してくれている。多様性のあるまちになるとよい。

グループ③



主な意見

- ・防災に強いまち。学生が防災の担い手になるような感じで、教育も進めばいい。
- ・外国人が増えているので、その方々との異文化交流が必要。
- ・高齢者が活躍できる場づくり、花のまち、きれいなまち並みづくり、観光がしやすいまち並みづくり等の意見が出た。
- ・ヨーカドー、本屋の閉店は残念との意見があった。
- ・10年後の恵庭市は、人が訪れ、人に優しいまちであつて欲しい。
- ・美味しいものが食べられるようなところがあると、人に来てもらえるのかなと思う。人がたくさん来てくれるようになることが必要。

グループ④



主な意見

- ・景色の良さ、人が集まること、観光面のことがあげられた。
- ・10年後は、足の問題が出てきそうなので、交通面が気になるところである。
- ・食も大事で、食べ物が美味しいこと。これは観光にもつながる。
- ・コロナ、ブラックアウトを乗り越えて、災害対策の重要性についても話がでた。
- ・恵庭はやっぱりいいといわれるような景色を守る。
- ・人を大事にしていく。

グループ⑤

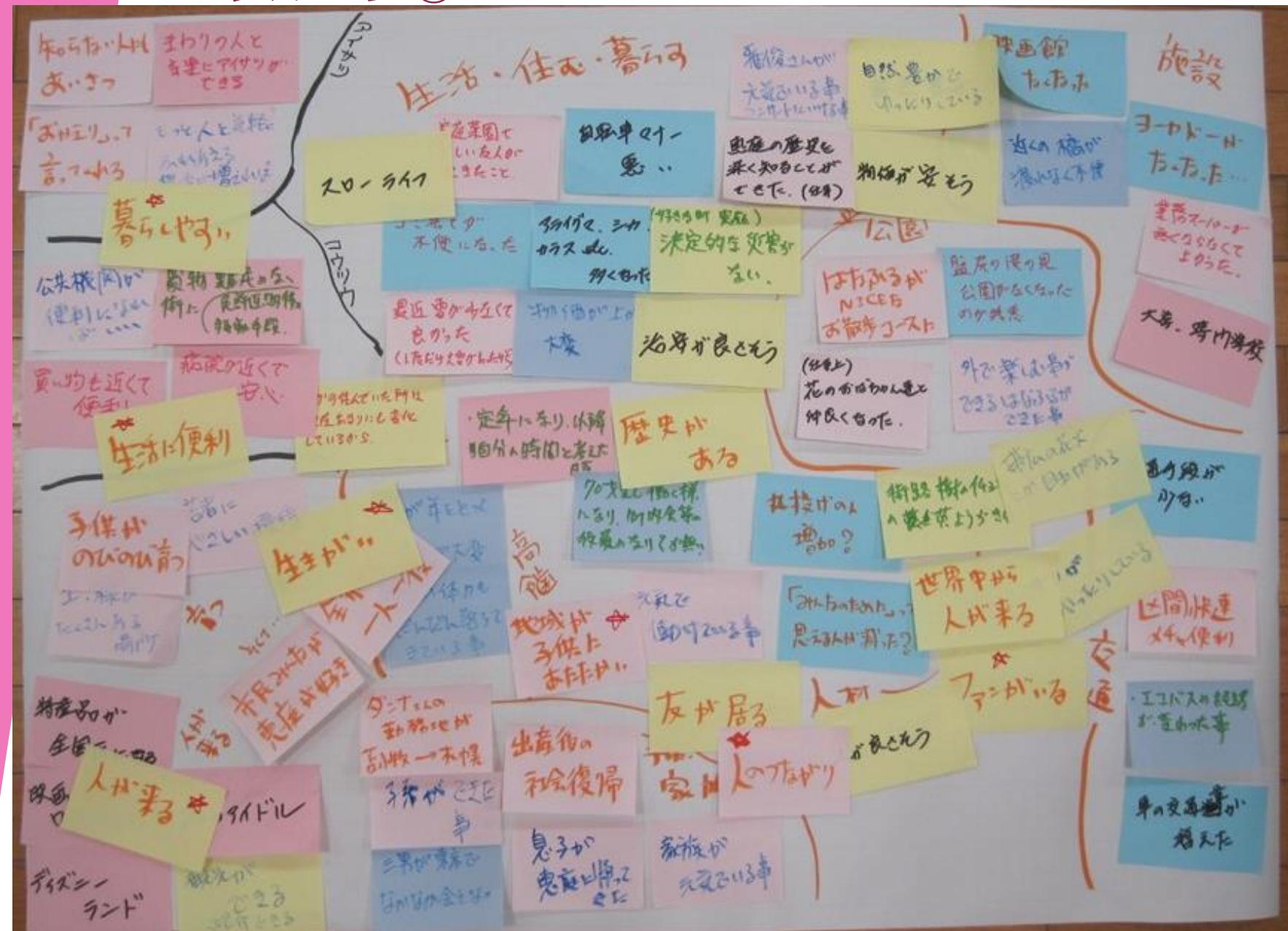
趣味



主な意見

- ・花のまちであることをはじめ、はなぶるで花に関するイベントがたくさんあることを評価している。
 - ・課題としては、デジタル化が進み、わからない人が多いこと、子どもが少ないと、物が高くなつたこと、温暖化問題等の話が出た。
 - ・10年後どんなまちだったらいいか。高齢者が増えていくので、高齢者支援等を行う社会福祉協議会の活動がもっと大きくなればいいのではという意見も出た。
 - ・子どもと大人の交流の場が増え、しっかり子どもに文化、人とのつながりの大切さを伝えていければと思う。
 - ・文化と人のつながりを大切にする教育が大事。例えば開放的なところで、趣味を持つ人たちが定期的に教えてくれるような場所があるといい。
 - ・市民みんなが仲良く気安く話し合えるまちでありたい。

グループ⑥



主な意見

- ・年代、バックグラウンドも様々なメンバーで色々な話が出て、頑張ってまとめた。10年後こうしたいというよりは、自分たちが暮らしていてこれは大事、外せないものが多くあげられたように思う。
 - ・映画館、ヨーカドーがなくなり、橋の工事で渡れず不便等、生活に関わる部分が課題としてあげられた。
 - ・買い物、病院等、生活に直結する部分、暮らしやすさは絶対に外せない。
 - ・一方で、大学、専門学校もあること、はなぶるが出来たことはよかったですと評価している。
 - ・挨拶する等、人のつながりも大事で、それは暮らしやすさにもつながる。
 - ・定年後に時間ができたこと等も含めて、スローライフというのも大事。
 - ・通り過ぎるのではなく、人が来る、誰かが来てくれるということも大事。
 - ・子どもがのびのび育つまちであってほしいと思っている。地域が子どもにあたたかく、人のつながりのあるあたたかいまちであるとよいとの話も出た。